

教育課程の考え方

1 教育理念

本校は、生命の尊厳と人間愛を基盤として、対象を思いやる豊かな人間性を育み、専門知識・技術を教授し、社会のニーズに応え得る能力を養い、安全で安心な医療を担う専門職業人を育成します。

2 教育目的

本校における教育は、すべての県民の健康に対して等しく貢献しうる、助産師、看護師、歯科技工士および歯科衛生士を養成することを目的とする。

学生一人ひとりの個性を大切にし、専門職業人としての自覚と豊かな人間性を養い、科学的な思考力と実践力をもって、対象のニーズに応じたセルフケアの確立に支援できる能力の育成をめざす。

3 第二看護学科 教育目標

- (1) 人間を生活する尊ぶ存在として幅広く理解する能力を養う。
- (2) 人々の多様な価値観を認識し、専門職業人としての共感的態度及び倫理に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- (3) 個別な看護ニーズを見出し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる基礎的能力を養う。
- (4) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チームの一員として協働するとともに、人々が社会資源を活用できるよう、それらを調整するための基礎的能力を養う。
- (5) 社会の動向に関心を持ち、自ら学ぶ力を養う。

4 カリキュラム・ポリシー

第二看護学科では、看護師となる土台として「生命の尊厳」「専門職としての高い倫理観」「相手を思いやる豊かな人間性」をもつ人であることを掲げ、そのうえで知識・技術を活用し対象の健康及び生活への支援ができる人材を育成します。

- 1) 看護師の土台について、1年次は倫理学、関係法規、看護学概論、2年次には終末期看護論、看護マネジメント論を通して学んでいく。人間関係学、精神看護学概論では、自己・他者理解、人間関係の構築方法について学ぶ。保健体育では、仲間同士のコミュニケーションについて学び、看護過程で学ぶコミュニケーション技術では、対象に合わせたコミュニケーションをとる必要性、自己のコミュニケーションの特徴を学ぶ。相手を思いやる豊かな人間性を養うためには、他者との関係性を築く中で相手の思いを推察し関わっていくことが必要となる。基礎看護学実習では、患者との関わりを通してこれらを理解し、対象との関係を構築する方法を学ぶ。そして、各領域の看護学実習において学びを深めていく。
- 2) 対象の健康上の課題に対応するために必要な知識（生涯人間発達学、解剖生理学、疾病治療学、生化学、微生物学、栄養学、薬理学など）を活用しながら科学的根拠に基づく判断や批判的思考、看護技術を用いて対象に必要な看護を提供する。批判的思考には、論理学で論理的思考、情報科学で統計的な見方・考え方を学ぶ。また、発達段階の異なる対象に必要な看護を導き出す思考（問題解決思考、ウェルネス思考）を学び、受け持ち患者に必要な看護実践能力育成のため、各看護学方法論、各看護学実習で学ぶ。さらに様々な健康段階にある対象に必要な看護を導き実践するため、看護活動論、統合実習で学んでいく。
- 3) 公衆衛生学、社会保障、社会福祉で日本の保健・医療・福祉の現状を学ぶ。看護の視点は、老年看護学概論、在宅看護論概論、在宅看護援助論、在宅看護活動論で学ぶ。さらに、地域包括ケアシステムにおける看護師としての自己の役割の認識、保健・医療・福祉現場の状況理解のため、チームの一員として多職種と良好な関係を保ちながら協働活動に参加することを学ぶ。多職種との協働は、在宅看護論や在宅看護論実習で学ぶ。また、安全で質の高い医療を提供するためには多職種が連携することが不可欠であることや、各職種の専門性を互いに理解し、互いの能力を最大限に発揮するための人間関係の構築について、看護マネジメント論、看護医療安全で学ぶ。
- 4) グローバルな社会において国内のみではなく国外に視野を広げ、外国語Ⅰ・Ⅱで文化の多様性を理解する。また、海外の保健・医療活動の実際とそこでの看護師の活動については、国際看護（看護活動論）で学ぶ。
- 5) 基礎看護学では、看護過程、臨床看護総論において、紙上事例を理解するための学習内容を自ら考えることを学ぶ。その学習を活かし基礎看護学実習では、受け持ち患者への看護を行うために必要な学習を自ら見出し学習する。さらに、各看護学方法論、各看護学実習では、1年次の自己学習を活用し、特殊な状況にある対象を理解するための知識を深めていく。そのうえで、卒業後も保健・医療・福祉の専門職として必要とされる学習課題が、自ら設定できるように統合実習で学びを統合する。看護研究では、文献検索を通して知見を広げる方法の修得、自己の看護を振り返り今後の看護の課題を明確にする方法を学ぶ。

5 主要概念の定義

| 主要概念 | 内 容 |
|------|--|
| 人 間 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の中で生活している存在。 ・ 生物体としての共通要素を持つが、それぞれの社会的・文化的背景の中で固有の感性や価値観および役割や関係を持つ。 ・ 単独で生きる存在ではない。自分以外の人々（環境）との相互作用の中で生き（生活し）、死んでいく存在。 ・ 身体的、精神的、社会的に統合された存在、かつ生活する尊ぶ存在。 |
| 健 康 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 主観的・客観的・個別的である。 ・ 個人の価値観や健康観、その人を取り巻く環境の影響を受けて変化する。 ・ 客観的な健康の指標の一つに疾病の有無やその程度が関係している。 ・ 自分の目標（自己実現）に向かって、その人らしく満足した日常生活が送れる状態である。 ・ その人の人生の目的を達成させる手段の一つである。 |
| 環 境 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 人を常に取り囲み相互に影響しあい、変化し続ける。 ・ 内的環境と外的環境であり、お互いに影響し合っている。 内的環境とは、対象自身の中にあるもので、それは無意識に外的環境に作用されながら安定性を維持するもの。生理的部分、自己概念、価値観など。 外的環境とは、その人の内部にあるもの以外のすべて。社会的環境、物理的環境、生物学的環境、化学的環境。 ・ 人と環境は連続的、創造的に変化する。 ・ 人間の発達や行動、健康に影響を与える条件や状況のすべてである。 |
| 看 護 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象が健康的で自律的に生きることができるよう、生活に視点をおいて支援すること。 ・ 看護者と対象との関係性において成り立ち、その相互作用のなかで高められる。 ・ 科学的知識と技術に裏付けられた安全で安楽な方法（看護技術）で提供される。 ・ 保健・医療システムのなかで協働する。 ・ 共感的態度と倫理的配慮のもとに存在する。 ・ 社会の変化に応じて看護ニーズに対応する。 |

令和2年度生 第二看護学科教育課程

| 分野 | 科 目 | 単 位 | 時 間 | 1年 | | 2年 | | |
|---------------|---------------|-----------------------|--------------|------------|--------------|------------|------------|------------|
| | | | | 単 位 | 時 間 | 単 位 | 時 間 | |
| 基礎分野 | 科学的思考の基盤 | 論 理 学 | 1 | 15 | 1 | 15 | | |
| | | 情 報 科 学 I | 1 | 15 | | | 1 | 15 |
| | | 情 報 科 学 II | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 外 国 語 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 人間と生活・社会の理解 | 外 国 語 II | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 倫 理 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 家 族 社 会 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 人 間 関 係 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | | |
| | 保 健 体 育 | 1 | 30 | 1 | 30 | | | |
| 小 計 | | 9 | 240 | 6 | 165 | 3 | 75 | |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能 | 解 剖 生 理 学 I | 1 | 15 | 1 | 15 | | |
| | | 解 剖 生 理 学 II | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 生 化 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 栄 養 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 生 涯 人 間 発 達 学 I | 1 | 15 | 1 | 15 | | |
| | 疾病の成り立ちと回復の促進 | 生 涯 人 間 発 達 学 II | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 疾 病 治 療 学 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 疾 病 治 療 学 II | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 健康支援と社会保障制度 | 薬 理 学 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 微 生 物 学 | 1 | 15 | 1 | 15 | | |
| | | 公 衆 衛 生 学 | 1 | 15 | | | 1 | 15 |
| | | 社 会 福 祉 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 社 会 保 障 | 1 | 15 | 1 | 15 | | |
| | 関 係 法 規 | 1 | 15 | 1 | 15 | | | |
| 小 計 | | 14 | 330 | 13 | 315 | 1 | 15 | |
| 専門分野Ⅰ | 基礎看護学 | 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 看 護 過 程 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 共 通 基 本 技 術 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 日 常 生 活 援 助 技 術 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 日 常 生 活 援 助 技 術 II | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 治 療・処 置 に 伴 う 援 助 技 術 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 臨 床 看 護 総 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 計 | 7 | 210 | 7 | 210 | | |
| | 臨地実習 | 基 礎 看 護 学 実 習 | 2 | 90 | 2 | 90 | | |
| 小 計 | | 9 | 300 | 9 | 300 | | | |
| 専門分野Ⅱ | 成人看護学 | 成 人 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 急 性 期 看 護 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 慢 性 期 看 護 論 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 慢 性 期 看 護 論 II | 1 | 15 | | | 1 | 15 |
| | 老年看護学 | 終 末 期 看 護 論 | 1 | 15 | | | 1 | 15 |
| | | 老 年 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 老 年 生 活 援 助 方 法 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 小児看護学 | 老 年 生 活 援 助 方 法 II | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 小 児 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 小 児 発 達 援 助 方 法 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 母性看護学 | 小 児 発 達 援 助 方 法 II | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 母 性 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 母 性 看 護 学 援 助 論 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | 精神看護学 | 母 性 看 護 学 援 助 論 II | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 精 神 看 護 学 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 精 神 看 護 学 援 助 論 I | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 精 神 看 護 学 援 助 論 II | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | 計 | | 17 | 480 | 12 | 360 | 5 | 120 |
| | 臨地実習 | 成 人 看 護 学 実 習 | 2 | 90 | | | 2 | 90 |
| | | 老 年 看 護 学 実 習 | 2 | 90 | 2 | 90 | | |
| 小 児 看 護 学 実 習 | | 2 | 90 | | | 2 | 90 | |
| 母 性 看 護 学 実 習 | | 2 | 90 | | | 2 | 90 | |
| 精 神 看 護 学 実 習 | | 2 | 90 | | | 2 | 90 | |
| 計 | | 10 | 450 | 2 | 90 | 8 | 360 | |
| 小 計 | | 27 | 930 | 14 | 450 | 13 | 480 | |
| 統合分野 | 在宅看護論 | 在 宅 看 護 論 概 論 | 1 | 30 | 1 | 30 | | |
| | | 在 宅 看 護 援 助 論 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 在 宅 看 護 活 動 論 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | 看護の統合と実践 | 看 護 マ ネ ジ メ ン ト 論 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 看 護 活 動 論 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 看 護 ・ 医 療 安 全 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | | 看 護 研 究 | 1 | 30 | | | 1 | 30 |
| | 臨地実習Ⅱ | 在 宅 看 護 論 実 習 | 2 | 90 | | | 2 | 90 |
| | | 統 合 実 習 | 2 | 90 | | | 2 | 90 |
| 小 計 | | 11 | 390 | 1 | 30 | 10 | 360 | |
| 総 合 計 | | 70 | 2,190 | 43 | 1,260 | 27 | 930 | |